

常陸大宮市史

資料編2 古代・中世

を発売しました



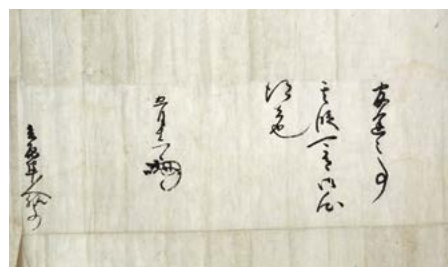
常陸大宮市の古代・中世の歴史資料を調査・研究した『常陸大宮市史 資料編2 古代・中世』を発売しました。

資料編2は、当地についての文字資料が残る古代から、慶長7年(1602)に佐竹氏が秋田に国替えになるまでの期間を取り扱っています。およそ1,000年にわたる古代・中世の古文書や関係する文化財、遺跡、史跡など1,545点を図版などとともに収録し、専門家による解説を付けて掲載しました。

平安時代末期からこの地を支配した佐竹一族はもちろん、画僧雪村や親鸞、聖岡といった地域の人物、城跡や石造物などの文化財まで幅広く取り上げ、常陸大宮の古代・中世史を知る決定版となっています。販売窓口は下記のとおりです。



佐竹義昭奉加帳(甲神社蔵)



佐竹(東)義久官途状(個人蔵)

『常陸大宮市史 資料編2 古代・中世』

〈仕様〉B5判、860ページ、口絵32ページカラー、クロス装、上製本、箱入り

〈価格〉3,500円

〈販売窓口及び販売時間〉

市役所文化スポーツ課 8:30-17:15(土・日・祝日を除く)

歴史民俗資料館 9:00-16:30(月曜・祝日休館)

文書館 9:00-16:30(月曜・祝日休館)



木造狛犬(常陸大宮市歴史民俗資料館蔵)